

平成 29 年度通訳翻訳研究所活動報告

No.	活動内容	開催日	開催場所	参加者数
1	外部有識者視察 (岐阜薬科大学長及び中部経済連合会専務理事)	05 月 09 日(火)	通訳翻訳研究所	
2	法人評価委員会視察	05 月 12 日(金)	通訳翻訳研究所	
3	愛知県県民生活部県民総務課視察	05 月 26 日(金)	通訳翻訳研究所	
4	「通訳翻訳研究所」シリーズ・ワークショップ 〈通訳〉に直結する世界情勢の知識と表現(第二回) “新聞を深く読む ―効果的方略法”	06 月 28 日(水)	学術文化交流センター 2F 小ホール	44 名
5	愛知県宮本副知事視察	10 月 18 日(水)	通訳翻訳研究所	
6	「通訳翻訳研究所」シリーズ・ワークショップ 〈通訳〉に直結する世界情勢の知識と表現(第三回) “新聞を深く読む ―英字新聞攻略法”	12 月 13 日(水)	学術文化交流センター 2F 小ホール	20 名
7	通訳翻訳研究所定例講演会第二回 機械翻訳の仕組みと使い方 ―NICT における実用化例と取り組みの紹介を中心に―	12 月 20 日(水)	学術文化交流センター 2F 小ホール	88 名
8	通訳翻訳研究所定例講演会第三回 医療機関における多言語音声翻訳機の実用化	01 月 17 日(水)	学術文化交流センター 2F 小ホール	35 名

1. 公開講演会の開催

通訳翻訳研究所定例講演会第二回

機械翻訳の仕組みと使い方

—NICT における実用化例と取り組みの紹介を中心に—

日時： 平成 29 年 12 月 20 日(水) 12:15～14:15

場所： 学術文化交流センター2F 小ホール

講師： 藤田 篤(情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター
先進的翻訳技術研究室 主任研究員)

司会： 大森 裕實(研究所長)

参加者数： 88 名

概要： 機械翻訳の歴史は 1950 年代後期の露英翻訳に遡ることができるが、当時はロシアが米国に先行しており、この黎明期はスプートニク危機と呼ばれる。やがて、欧米の機械翻訳技術開発は日進月歩を遂げ、2000 年代に入ると、大規模集積対訳データベースの整備とコンピュータの処理能力の向上により、最適の翻訳文(語句配列)を産出する SMT 方式(統計機械翻訳)が開発され、飛躍的に精度が向上して、実用に堪えられるものに進化した。現在では AI(人工知能)の発達により、NMT 方式(ニューロン機械翻訳)が脚光を浴び、システム自体がエラーを修正する学習機能を備えるようになった結果、機械翻訳に明るい将来像を描くことが可能である。人間が関与する部分は、機械翻訳しやすい文構造に整形する前編集や後編集に限定されるかもしれない—その意味では TRADOS など不要になるかもしれない。自動翻訳ソフトとして@TexTra[®]を開発し、続いて、多言語音声翻訳アプリとして VoiceTra[®]を開発し、いずれも無料で広く提供している。



通訳翻訳研究所定例講演会第三回 医療機関における多言語音声翻訳機の実用化

日時： 平成 30 年 1 月 17 日 (水) 12:30～14:30

場所： 学術文化交流センター2F 小ホール

講師： 長瀬 友樹(㈱富士通研究所 人工知能研究所
ナレッジ活用 PJ 主管研究員)

司会： 大森 裕實(研究所長)

参加者数： 35 名

概要： 最近では医療機関(病院)を訪れる外国人患者の数は急増し、多様性も増している実態が顕著に認められるが、そうした人々の相談や要求に十分対応できる医療従事者は多くはない。その場合、医療通訳士の配置及び活用が望まれることは言うまでもない。しかし、多様な言語対応の問題や勤務時間等の問題があり、それらの解決のためには、人間の技能に頼らず、音声翻訳技術の応用及び実用化が焦眉の急となっている。医療現場では、片手で音声翻訳端末を操作することは難しいため、ハンズフリーで駆動するタブレット型端末やポケット型端末を開発し——医療従事者の日本語音声方向と患者の英語音声方向によりAI技術でそれを識別し、自動音声翻訳を可能にした——東京大学附属病院を中核に臨床試験(実際の医療従事者と患者への適用;主に総合案内と採血現場)を行なった結果、良好な結果が得られた。もちろん、課題も少なくはない——例えば、英語やスペイン語であっても、多様な変種が存在するため、非標準変種に対して翻訳エンジンの開発が不十分な現状がある、また、医療過誤を惹起する可能性のある複雑で専門性の高い会話には対応できない。その意味において、AI技術はあくまでも人間が行なう音声翻訳の補助に過ぎないことに十分に留意して、それを過信しない視点を持つことも重要である。



2. ワークショップの開催

平成 26 (2014) 年度から外国語学部英米学科に新設された EIC (English for Intercultural Communication) コースは、専攻言語を英語とする国際関係学科にも開放された「高度な英語技能修得」を目標とする選抜コースであり、第三期生 9 名 (2 年生) を加えて、第二期生 15 名 (3 年生) 及び第一期生 10 名 (4 年生) と併せて、実質的かつ本格的コースワークの完成年度を迎えた。そこで、当該 EIC コースの中核を成す「同時通訳」(コース特化科目として Interpreting I・II を設置) に関連して、正規授業内容を補完し、新たな視点から、履修学生の意識の向上と技能及び知識の活性化を図る「ワークショップ」を 2 回企画した。いずれも、昨年度からのシリーズ企画であり、EIC コースを支援する通訳翻訳研究所との共催の形で実現した。今回も、袖川裕美准教授 (BBC ワールドニュースの現役放送通訳者) の人脈と尽力に負うところが大きい。スケジュールの厳しい本企画に積極的に参加してくれた学生諸君に対しても改めて謝意を表したい。本ワークショップの実施内容について、以下に簡略に記す。

I. 〈通訳〉に直結する世界情勢の知識と表現 (第二回) “新聞を深く読む——効果的方略法”

- i) 日程——平成 29 (2017) 年 6 月 28 日 (水) 12:15～
- ii) 場所——本学「学術文化交流センター」小ホール
- iii) 参加者——学生 39 名、教職員 5 名
- iv) 講師——杉本 宏氏 (朝日新聞元米国 LA 支局長)
岡野洋平氏 (朝日新聞教育企画部)
- v) 内容——①新聞の作り方から知る新聞情報の特徴と扱い方; ②新聞記者 (書き手) の視点からみた報道の特徴; ③質疑応答



II. 〈通訳〉に直結する世界情勢の知識と表現 (第三回) “新聞を深く読む——英字新聞攻略法”

- i) 日程——平成 29 (2017) 年 12 月 13 日 (水) 12:30～
- ii) 場所——本学「学術文化交流センター」小ホール
- iii) 参加者——学生 16 名、教職員 4 名
- iv) 講師——杉本 宏氏 (朝日新聞教育企画部)
- v) 内容——①英字新聞の種類と特徴; ②新聞記者 (書き手) の視点からの英字新聞読み方の極意; ③質疑応答



この趣のワークショップでは、通訳者がその力を本領発揮するためには、一般的英語コミュニケーション能力の習得だけでは不十分であり、通訳が必要とされるコンテキストで欠くことのできない時事問題に関する知識の増強がどれほど重要であることを痛感させられるもの——履修学生の意識改革につながるものとなった。これらの課程外教育が、正規授業との相乗効果を惹起して、EIC コース履修学生のなかに「心・技・体」の三位一体感が醸成されることを期待したい。

★社会的貢献 (ボランティア通訳)

松本拓人君 (英米学科 4 年生 / TOEIC 990 満点の実力派) が愛知県新城市主催「ユースアライアンス会議」(Newcastle という名称の都市をもつ世界 11 ヶ国 [スイス、ドイツなど] から約 30 名が参加; 2017.12.9-10) に企画・運営・通訳スタッフとして参加したことも、本学 EIC コースの社会的貢献の好例として特記しておきたい。

(研究所長記)

「通訳翻訳研究所」定例講演会第二回
機械翻訳の仕組みと使い方
—NICTにおける実用化例と取り組みの紹介を中心に—

愛知県立大学は平成 28 年 4 月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、無事二年目を迎えることができました。本年度は定例講演会の一環として、情報通信研究機構からシニアフェローをお迎えして、最新の機械翻訳について、最先端の研究現場からのお話を伺えることとなりました。指定対象学生の他にも定員(80 名)までは参加可能です。興味があれば、ぜひご参加ください。
平成 29 年 11 月 20 日 研究所長 大森裕實 / 外国語学部長 吉池孝一

【講演要旨】

訪日外国人や日本在住の外国人の増加に伴い、母語の異なる話者どうしがコミュニケーションを取る機会も増えている。我々は、日常生活の様々なシーンにおいて「言葉の壁」を感じず円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指して、多言語音声翻訳に関する各種技術の研究開発、および社会実装に向けた実証実験を進めている。本講演では、まず、実施中のプロジェクトの全体像を紹介し、多言語音声翻訳と機械翻訳(MT)の仕組みについて解説する。MT システムの性能が急速に向上した背景には、2000 年代以降に大規模に集積されるようになった対訳データとコンピュータの処理能力の向上があるが、MT システム単体では「どんな入力に対しても正しい訳を出力する」ということは保証しえない。問題となる事例を示した後、本講演の後半では、MT システムを活用するための手法・技術の例として、MT 結果の後編集とその自動化、MT 結果の品質推定技術、MT 前編集の可能性について紹介する。

日時 平成 29 年 12 月 20 日(水) 12:15~14:15
(講義 70 分+Q&A's / Free Talk 20 分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター (2F 小ホール)



内容 [講演会] “機械翻訳の仕組みと使い方
—NICT における実用化例と取り組みの紹介を中心に—”

講師 藤田 篤 (情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター
先進的翻訳技術研究室 主任研究員)

司会 大森 裕實 (研究所長/本学教授)

対象 外国語学部 EIC コース履修生/外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生/
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生
※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください

参加申込 参加費無料、事前予約不要 (定員 80 名)
※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで
TEL: 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 加藤)
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)

通訳翻訳研究所

＜定例講演会第二回＞

日時 平成 29 年 12 月 20 日 (水) 12:15～14:15

会場 愛知県立大学 (長久手キャンパス)
学術文化交流センター2 階 小ホール

内容

講演

機械翻訳の仕組みと使い方

ーNICT における実用化例と取組みの紹介を中心にー

藤田 篤

国立研究開発法人 情報通信研究機構
先進的音声翻訳研究開発推進センター
先進的翻訳技術研究室 主任研究員

**参加
申込**

参加費無料，事前予約不要

※プログラム詳細については，愛知県立大学 HP ポータルサイト

<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

問合せ先

通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)

「通訳翻訳研究所」定例講演会第三回 医療機関における多言語音声翻訳機の実用化

愛知県立大学は平成 28 年 4 月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、無事二年目を迎えることができました。本年度は定例講演会の第二弾として、富士通研究所人工知能研究所から講師をお迎えし、最近注目を集める“医療機関における多言語音声翻訳機の実効性”についてお話を伺えることとなりました。指定対象学生の他にも定員(80名)までは参加可能です。興味があれば、ぜひご参加ください。

平成 29 年 12 月 16 日 研究所長 大森裕實 / 外国語学部長 吉池孝一

【講演要旨】

近年様々な理由から病院を訪れる外国人患者が増加している。日本語が不得意な患者から正しい情報が入手困難な場合、診療・治療に悪影響を及ぼすことが指摘されている。この問題の解決には医療通訳士の配置・利用が望ましいが、一方、少数言語対応・時間外診療・利用頻度等の理由により、音声翻訳技術による解決も期待されている。今回、医療用多言語音声翻訳機の臨床試験(実医療者と実患者への適用)について、翻訳エンジンと音声翻訳端末の開発状況、利用者の反応、解決すべき課題と今後の展望について説明する。

日時 平成 30 年 1 月 17 日(水) 12:30~14:30
(講義 70 分+Q&A's / Free Talk 20 分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター(2F 小ホール)



内容 [講演会] “医療機関における多言語音声翻訳機の実用化—臨床試験に基づいて”

講師 長瀬 友樹 (株)富士通研究所 人工知能研究所
ナレッジ活用 PJ 主管研究員)

司会 大森 裕實 (研究所長/本学教授)

対象 外国語学部 EIC コース履修生/外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生/
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生

※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください

参加 参加費無料、事前予約不要(定員 80 名)

※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所(IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)まで
TEL: 0561-76-8824 (学務課[研究所担当] 加藤)
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)

通訳翻訳研究所

＜定例講演会第三回＞

日時 平成 30 年 1 月 17 日 (水) 12:30～14:30

会場 愛知県立大学 (長久手キャンパス)
 学術文化交流センター2 階 小ホール

内容

講演

医療機関における多言語音声翻訳機の実用化
 ——臨床実験に基づいて

長瀬 友樹

(株)富士通研究所 人工知能研究所
 ナレッジ活用 P J 主管研究員

**参加
申込**

参加費無料，事前予約不要

※プログラム詳細については，愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

問合せ先

通訳翻訳研究所 (ITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)

**「通訳翻訳研究所」
シリーズ・ワークショップ
〈通訳〉に直結する世界情勢の知識と表現(第二回)
“新聞を深く読む—効果的方略法”**

冠省 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。愛知県立大学は平成 28 年 4 月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、無事二年目を迎えることができました。本研究所の目的は、多言語にわたる通訳翻訳の理論的基盤研究と実践的応用研究を統合し、その成果を学内及び愛知県下の行政及び企業・団体等に還元することにあります。本目的達成のために、外国語学部(英米学科と国際関係学科をブリッジする EIC [English for Intercultural Communication] コース、中国学科の翻訳・通訳コース)・大学院国際文化研究科(国際文化専攻の英語高度専門職業人コース ACDEP)・通訳翻訳研究所(IIT)において、通訳翻訳の教育と研究を一貫して行うことにより、通訳翻訳の研究・教育の充実と良質の通訳者・翻訳者の養成を図ります。そのための重要な事業の一環として、実務経験豊かな講師による講演会や研究会を定期的に開催してまいります。

本年度はシリーズ・ワークショップの一環として、朝日新聞社から専門性の高い講師をお迎えして「新聞を深く読む—効果的方略法」を開催する運びとなりました。指定対象学生の他にも定員(50 名)までは参加可能です。興味があれば、ぜひご参加ください。平成 29 年 6 月 15 日

研究所長 大森裕實／外国語学部長 吉池孝一

日時 平成 29 年 6 月 28 日(水) 12:15~14:15

(講義 90 分+Q&A's / Free Talk 30 分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター (2F 小ホール)



内容 [ワークショップ] “新聞を深く読む—効果的方略法”

杉本 宏 (株朝日新聞社教育企画部現教育コーディネーター／米国 LA 支局長、
英字新聞 *Asahi Evening News* 編集デスク等を歴任)

袖川裕美 (本学准教授／Coordinator)

対象 外国語学部 EIC コース履修生／外国語学部通訳技法履修生／大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生／その他

参加申込 参加費無料、事前予約必要(定員 80 名)

※プログラム詳細については、ポスターまたは愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください。



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

問合せ及び予約は通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで



愛知県立大学
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

「通訳翻訳研究所」
シリーズ・ワークショップ
〈通訳〉に直結する世界情勢の知識と表現(第三回)
新聞を深く読む—英字新聞攻略法

冠省 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。愛知県立大学は平成28年4月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、無事二年目を迎えることができました。本研究所の目的は、多言語にわたる通訳翻訳の理論的基盤研究と実践的応用研究を統合し、その成果を学内及び愛知県下の行政及び企業・団体等に還元することにあります。本目的達成のために、外国語学部(英米学科と国際関係学科をブリッジするEIC [English for Intercultural Communication] コース、中国学科の翻訳・通訳コース)・大学院国際文化研究科(国際文化専攻の英語高度専門職業人コースACDEP)・通訳翻訳研究所(IIT)において、通訳翻訳の教育と研究を一貫して行うことにより、通訳翻訳の研究・教育の充実と良質の通訳者・翻訳者の養成を図ります。そのための重要な事業の一環として、実務経験豊かな講師による講演会や研究会を定期的に開催してまいります。

本年度はシリーズ・ワークショップの一環として、朝日新聞社から専門性の高い講師をお迎えして「新聞を深く読む—英字新聞攻略法」を開催する運びとなりました。指定対象学生の他にも定員(80名)までは参加可能です。興味があれば、ぜひご参加ください。

平成 29 年 11 月 7 日 研究所長 大森裕實 / 外国語学部長 吉池孝一

日時 平成 29 年 12 月 13 日 (水) 12 : 30~14 : 30
(講義 90 分+Q&A's / Free Talk 30 分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター (2F 小ホール)

内容 [ワークショップ] “新聞を深く読む—英字新聞攻略法”

講師 杉本 宏 (㈱朝日新聞社教育企画部現教育コーディネーター／米国 LA 支局長、英字新聞 *Asahi Evening News* 編集デスク等を歴任)
司会 袖川裕美 (本学准教授／放送・会議通訳)

対象 外国語学部 EIC コース履修生／外国語学部通訳技法履修生／
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生
※その他ご興味のある方はご自由にお越しください。

参加申込 参加費無料、事前予約不要 (定員 80 名)

※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください。



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで
TEL : 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 加藤)
FAX : 0561-64-1107 (文系教員センター共用)



3. 平成29年度通訳翻訳研究所購入所蔵図書一覧(2017)

カテゴリー	著者名	出版年	書名	出版社
通訳研究	Rowthorn, Chris・伊集院 幸子	2010	プロが教える現場の英語通訳ガイドスキル	三修社
翻訳研究	斎藤 兆史	2007	翻訳の作法 2冊	東京大学出版会
	Luce, Edmund	2016	Helps to Latin Translation at Sight	Hardpress Publishing
	Wales, Katie	1989	A Dictionary of Stylistics	LONGMAN
	Simpson, Paul	2014	Stylistics: A Resource Book for Students	Routledge
	稲垣 直樹	2016	翻訳技法実践論『星の王子さま』をどう訳したか	平凡社
	Hughes, Geoffrey	2010	Political Correctness	WILEY-BLACKWELL
	斎藤 兆史	2016	Style and Creativity Towards a Theory of Creative Stylistics	ひつじ書房
	田辺 希久子・光藤 京子	2008	英日英 プロが教える基礎からの翻訳スキル	三修社
関連図書 (聖書及び社 会)	田川 建三 (著・訳)	2008	新約聖書 訳と註 第一巻 マタイ福音書 / マタイ福音書	作品社
	田川 建三 (著・訳)	2011	新約聖書 訳と註 第二巻 上 ルカ福音書	作品社
	田川 建三 (著・訳)	2011	新約聖書 訳と註 第二巻 下 使徒行伝	作品社
	田川 建三 (著・訳)	2007	新約聖書 訳と註 第三巻 パウロ書簡 その一	作品社
	田川 建三 (著・訳)	2009	新約聖書 訳と註 第四巻 パウロ書簡 その二 / 疑似パウロ書簡	作品社
	田川 建三 (著・訳)	2013	新約聖書 訳と註 第五巻 ヨハネ福音書	作品社
	田川 建三 (著・訳)	2015	新約聖書 訳と註 第六巻 公同書簡 / ヘブライ書	作品社
	田川 建三 (著・訳)	2017	新約聖書 訳と註 第七巻 ヨハネの黙示録	作品社
	寺澤 芳雄 (監修)	1982	限定覆刻 欽定英訳聖書	南雲堂
関連図書	Vogt, Lisa	2017	もう困らない! どんときも! 「英語で案内」ができる本	大和書房
	Hitchings, Henry	2005	Defining the World: The Extraordinary Story of Dr. Johnson's Dictionary	Farrar, Straus and Giroux
	エディテージ (著), 熊沢 美穂子 (訳)	2016	英文校正会社が教える英語論文のミス100	The Japan Times
	エディテージ (著), 熊沢 美穂子 (訳)	2017	英文校正会社が教える英語論文のミス (分野別強化編)	The Japan Times
	安原 和也	2011	英語論文基礎表現717	三修社
	安原 和也	2012	英語論文重要語彙717	三修社
	尾形 勇 他 (著)	2017	英語で読む高校世界史	講談社
	長尾 和夫・Boerger, Andy	2017	英語で読む力。: 54のサンプル・リーディングで鍛える!	三修社
	濱田 伊織	2009	洗練された会話のための英語表現集 ヘネイティブとのコミュニケーションを円滑にする1050例文	ベレ出版
	國弘 正雄 (編), 千田 潤一 (トレーニング指導)	2000	英会話・ぜったい・音読: 頭の中に英語回路を作る本	講談社インターナショナル
	國弘 正雄 (編), 千田 潤一 (トレーニング指導)	2001	英会話・ぜったい・音読 (入門編) 英語の基礎回路を作る本 (複合媒体資料)	講談社インターナショナル
	Doyle, Arthur Conan (著), 井上 久美 (訳・英語解説)	2012	英語で読むシャーロック・ホームズ シャーロックアンが愛した5篇	IBCパブリッシング
	Christian, Tom (著), 神崎 正哉 (英語解説), 他	2012	英語で読むスティーブジョブズ	IBCパブリッシング
	菊池 繁夫・上利 政彦 (共編)	2016	英語文学テキストの語学的研究法	九州大学出版会
	斎藤 兆史	2000	英語の作法	東京大学出版会
	佐藤 ヒロシ	2017	ラッセルと20世紀の名文に学ぶ英文味読の真相39	ブレイス
	佐藤 ヒロシ	2011	東大英語が教えてくれる英文正読の真相55	ブレイス
	Swales, John・Peak, Christine B. (著), 御手洗 靖 (訳)	1998	効果的な英語論文を書く—その内容と表現	大修館書店
	Hitchings, Henry (著), 田中 京子 (訳)	2014	英語化する世界、世界化する英語	みすず書房
	映画英語アカデミー学会 (監修)	2017	先生が薦める英語学習のための特選映画100選「大学生編」	フォーイン スクリーンプレイ事業部
	Moffat, Steven & Gatiss, Mark	2017	バイリンガル版 SHERLOCK 大いなるゲーム	KADOKAWA
	Brothers Grimm (著), 出水田 隆文 (英語解説), 宇野 葉子	2015	[IBC対訳ライブラリー]英語で読むグリム名作選	IBCパブリッシング
	臼井 俊雄	2014	CD BOOK 教養としての理系の英語	ベレ出版
	臼井 俊雄	2013	英米人のものの見方を理解するための教養の英語	ベレ出版
	真野 泰	2010	英語のしくみと訳しかた	研究社
	新村 恭	2017	広辞苑はなぜ生まれたか—新村出の生きた軌跡	世界思想社
	酒井 志延・朝尾 幸次郎・小林 めぐみ (共編)	2017	社会人のための英語の世界ハンドブック	大修館書店
	Davis, Norman (編)	1979	A Chaucer Glossary	Oxford University Press
	Morton, Robert・Ruxton, Ian C. (編・解説)	2013	アーネスト・サトウ著作集別巻 翻刻・注釈版 アーネスト・サトウ日記 幕末維新前期編	Eureka Press
	Ruxton, Ian C. (編著)	2015	アーネスト・サトウ著作集別巻 翻刻・注釈版 アーネスト・サトウ日記 明治前期編	Eureka Press
	Ruxton, Ian C. (編著)	2016	アーネスト・サトウ著作集別巻 翻刻・注釈版 アーネスト・サトウ日記 1900・1903/1904・1906	Eureka Press

カテゴリー	著者名	出版年	書名	出版社
	Ruxton, Ian C. (編著)	2015	アーネスト・サトウ著作集別巻 翻刻・注釈版 アーネスト・サトウ日記 1906-1911	Eureka Press
辞書	クデイラアンド・アソシエイト (編)	2017	最新ビジネス英文Eメール辞典	朝日出版社
	竹林 滋 (編)	2002	新英和大辞典 第6版 並装	研究社
	渡邊 敏郎・ Skrzypczak, E.R.・Snowden, Paul (編著)	2003	新和英大辞典 第5版 並装	研究社
	市川 繁治郎 (編)	1995	新編 英和活用大辞典	研究社
	高橋 作太郎 (編)	2012	リーダーズ英和辞典 第3版	研究社
	新村 出 (編)	2018	広辞苑 第七版	岩波書店
	長井 氏辰 (編)	1987	英語ニューハンドブック〈第4判〉	研究社
	松尾 文子・廣瀬 浩三・西川 眞由美 (編著)	2015	英語談話標識用法辞典	研究社
	日本語文法学会	2014	日本語文法事典	大修館書店
	Wales, Katie (著), 豊田 昌倫 他 (訳)	2000	英語文体論辞典	三省堂
	Kim, Young Yun (編)	2018	The International Encyclopedia of Intercultural Communication 3vols	WILEY-BLACKWELL
雑誌		2017	翻訳事典2018年度版	アルク
		2017	通訳者・翻訳者になる本 2018	イカロス出版
		2018	通訳者・翻訳者になる本 2019	イカロス出版

平成29年度 通訳翻訳研究所購入所蔵図書

■通訳翻訳研究所所蔵

◆研究所図書 (冊)

通訳研究	1
翻訳研究	9
関連図書 (内、聖書及び註 解)	41 (9)
辞書	11
雑誌	3
計	65

◆院生研究支援 (翻訳理論・実践研究会)

(冊)

英文法書・言語学書	7
計	7

※平成30年3月現在